

名古屋大学大学院生命農学研究科
応用生命科学専攻生物有機化学研究室助教公募要領

1	募 集 件 名	助教（テニュアトラック）の公募
2	所 属	大学院生命農学研究科応用生命科学専攻生物有機化学研究室
3	募 集 内 容	<p>[職務内容（業務内容、担当科目等）]</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。</p> <p>応用生命科学専攻は、農学分野における多様な生命現象の機構を最先端の生命科学と分子科学の理論と技術により解明し、その応用展開の基盤を作るための教育研究を進めることにより、食・環境・健康の増進・向上に貢献することを目指した教育と研究を行っています。生物有機化学研究室（西川俊夫教授）は、大学院生命農学研究科および農学部において有機化学に関連する教育を担当するとともに、様々な生物活性を示す天然有機化合物に関する生物有機化学研究を行なっています。特に、生物現象の中心的役割を果たす有機分子の化学合成研究と化学合成を活用した微量天然物の構造決定、生物活性発現機構の解明研究を推進しています。今回公募する助教には、上記に関連した研究分野、特に天然有機化合物の化学合成で優れた研究成果を挙げつつあり、西川教授と協力して当該研究室の更なる発展に貢献するとともに、大学院・学部での教育と研究指導に熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができる者が望まれます。</p> <p>【担当する業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命農学研究科の運営に関連する業務 ・大学院生命農学研究科および農学部における教育と研究 <p><担当授業科目></p> <p>(1) 学部 情報リテラシー入門、応用生命科学実験実習等</p> <p>(2) 大学院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士前期課程：有機合成化学特論、生命農学演習、修士論文研究等 ・博士後期課程：博士論文研究 <p>※本募集では、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p>
		[勤務地] 愛知県名古屋市千種区不老町

		[募集人員] 助教（テニュアトラック）・1名	
		[着任時期] 2022年1月以降早い時期	
4	募集研究分野	大分類	農学（農芸化学）、複合領域(生体分子科学)
		小分類	生物有機化学、生物分子化学
5	勤務形態	常勤（テニュアトラック） 任期5年 ※本学テニュアトラック制度により、審査の上、合格した場合はテニュアを付与	
6	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者、または着任までに取得予定の者 ・有機合成化学を専門分野とすること ・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができる者	
7	待遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm	
8	応募期間	2021年7月1日～2021年9月30日	
9	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] 次の書類を応募期間内（必着）に以下へ郵送してください。 （1）応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む） （2）履歴書 （3）研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許、その他に分類し、番号を付けてください。原著論文の責任著者に*印を付けてください。） （4）論文等のPDFファイル（主要なもの5編程度） （5）現在までの研究の概要（1,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと） （6）今後の研究に関する計画と抱負（1,000字程度） （7）大学における教育に対する考え方と抱負（800字程度） （8）過去の研究費獲得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と金額を明記のこと） （9）大学における管理運営、社会連携、国際協働についての考え（400字程度）	

	<p>(10) その他 (教育実績、学協会関連活動、社会貢献など選考の参考になる事項)</p> <p>(11) 応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス</p> <p>※上記の書類各1部(紙媒体)に加え、「(4) 論文等のPDFファイル」以外の書類をひとつのPDF形式のファイルにまとめ、(4)のPDFファイルとともに、一つのCD、USBメモリ等のメディアに保存して提出ください。</p> <p>〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院生命農学研究科 応用生命科学専攻生物有機化学研究室助教選考委員会委員長 西川俊夫宛</p> <p>※書類は「応募書類在中」と朱書きし、書留郵便または宅配便など配達記録の残る方法でお送りください。</p> <p>※応募締め切りの1週間後までに応募書類を受領した旨の連絡(電子メール)がない場合には、電子メールにて委員長までお問合せください (Mail: nisikawa[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください)。</p> <p>※その他の問合せについても、委員長宛に電子メールにてお願いします。</p> <p>[選考内容(選考方法、採否の決定)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類選考の上、面接を実施することがあります。 ・なお、面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。 ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。
10	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・※名古屋大学の取り組みについては下記をご覧ください。 http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。